



きらめき

白十字会グループ 在宅支援スタッフ

修了式

在宅支援

その人らしさを大切に
 チームで育て

育成プログラム



1年間に及ぶプログラムを終え
 富永理事長を囲んで記念撮影
 平成27年度修了者数
 佐世保地区 95名
 福岡地区 33名

白十字会グループでは病院・施設から退院・退所されるにあたってスムーズに在宅での生活を実現できるよう『在宅支援スタッフ育成プログラム』を開講し、1年かけて学習を積み「在宅復帰・在宅生活支援に強い」スタッフを育成しています(平成25年度より開講)。
 27年度はこれまでの看護、リハビリ職員だけだった受講資格を全職種に拡大し、栄養士、相談員、ケアマネージャー、事務など多職種が月2回のカリキュラムを受講。
 座学だけでなく実際の在宅サービス現場を体感することで、より実のあるプログラムになりました。

佐世保中央病院での修了式の様子



初夏を告げる 山法師

キラメキの庭に可憐な白い花を咲かせる「山法師」。さわやかに落ち着いた印象の姿に和ませてくれます。庭の中央に凛と立ち、ベンチでくつろがれる方に日陰を作ってくれています。



花言葉は
 友情

よくハナミズキと間違われますが、日本が原産の山法師に対し、ハナミズキはアメリカからの外来種で別名アメリカハナボウシとも言われています。

白十字会グループ 認知症専門ナース 育成プログラム

認知症高齢者が2025年には約700万人に上ると推計されており、日本の現在から将来的に渡る課題となっています。
 認知症はご本人の苦悩はもちろんですが、ご家族や周囲の方々への影響も多大なものです。認知症になってもいつまでも尊厳を持って、その人らしい生活ができるよう支援することは私たちにとっての使命でもあります。

そういった認知症の方をサポートし、周囲の方に正しく理解してもらえるよう『認知症専門ナース』を育成しており、27年度も14名の専門ナースが誕生いたしました。

認知症を正しく理解しこれからもその方らしさを取り戻せるよう、専門ナースとして取り組んでいきたいと思えます。



平成27年度修了ナース
 佐世保中央病院 4名
 耀光リハビリテーション病院 4名
 長寿苑(老健) 2名
 サン(老健) 2名
 さざ・煌きの里 2名
 「白十字会グループの認知症ケアの質の向上にリーダーシップを発揮することを期待」と富永理事長



通所リハビリテーション で、体も気持ちも元氣よく!

お一人おひとりに合ったプログラムでリハビリを実践。住み慣れた自宅での生活を続けるためにもいつまでも元氣な体と気持ちを持ちたいものです。お気軽にご相談ください!



送迎します
 毎朝玄関前でキラがお出迎え

手洗い 1番 よくできました



これから梅雨時に入り食中毒などが心配な時期になります。予防にはまずは手洗いが一番大切。「感染対策委員会」では手洗いを徹底指導。普段洗いでどのくらい汚れが落ちていないか「チェッカー」で確認。
 厳しい審査の目に何度も洗い直しの「洗札」を受けた職員も。



「一処置一手洗いを携帯し感染防止に取り組んでいます。」

第11回 白十字駅伝大会

今年も福岡の今津運動公園で白十字駅伝大会が開催。雨も上がり例年以上の暑いタスキリレーが展開されました。
 E 出場30チームには、医師、リハビリ、看護、介護、薬剤師、事務など多職種が参戦。
 K 法人外からも福岡リハビリテーション病院や自衛隊福岡病院などがエントリーし大会を盛り上げた交流ができました。
 I 2.3kmの周回コース8区間のコース。ガチで走るチーム、衣装で笑いを取るチームなど
 E 思い思いのチームカラーで応援にも力が入ります。出場選手の中には、佐世保から4時間近くかけて自転車で来た女性強者も!(もちろん帰るも)
 N 優勝は佐世保中央病院の走心会が連覇を果たしました。選手・応援の皆さん、そして何よりも数ヶ月前から企画・準備・運営して頂きました実行委員の皆さまお疲れ様でした。

今年も熱く走りました!



連覇を果たした走心会チーム

法人内外から30チームが集結